



山本優音 (フルート)

1992 年生まれ、大阪市出身。14 歳からフルートを始める。東京音楽大学を経て吹奏楽の指揮、室内楽での活動の他、全国のプロオーケストラに客演。2020 年まで東京を中心に活動。2021 年より河内小阪「ミユキ珈琲」店主。商店街の店舗にてライブイベントを行なっている。フルートを山崎智佳、堀井恵、相澤政宏の各氏に師事。



重松 真美 (ピアノ)

3 歳よりピアノ、14 歳より電子オルガンを始める。電子オルガンを始めてからポピュラー、ジャズに興味を持ち 20 歳からジャズピアノを始める。トランペッター みちしたかつみ率いるバンド「Something」初代ピアニスト。関西のライブハウスで演奏する。しばらく演奏を休んでいたが、2015 年に演奏活動を再開。人の心に響く音楽を目指している。'88 カワイドリマトーンコンクール 銀賞受賞。



石橋周三 (ベース)

高校時代からベースを始め、大学時代にジャズクルセダースを聞き、ジャズベースを始める。金融機関に 33 年間勤務するが早期退職し、音楽活動を復活。現在はより音楽性の幅を広げるためピアニストの宮下博行氏に師事し、関西を中心にライブハウス等で活動をしている。



桑島紳二 (進行・ドラムス)

大阪商業大学 公共学部特任教授。学生時代にドラムを河瀬勝彦氏に師事。ロックやフュージョン系の音楽に傾注するが、卒業後はジャズに主軸を移し現在に至る。大学では「アートによる地域活性化」をテーマに研究活動を行う傍ら、ジャズにおける「対話」と「即興」をテーマに、レクチャー & デモンストレーションを社会人講座等で行っている。